

海外出張報告

独立行政法人国際協力機構（JICA）「カンボジア・ラオス・マレーシア・ミャンマー・タイ及びベトナムにおける家畜疾病防除計画プロジェクト（フェーズ2）」長期専門家（家畜疾病防除）

出張期間：平成20年2月13日～平成22年2月12日

出張場所：タイ国農業協同組合省・畜産振興局（DLD）バンコク

INOUE Toru

国際重要伝染病研究チーム 上席研究員 井上 亙

「カンボジア・ラオス・マレーシア・ミャンマー・タイ及びベトナムにおける家畜疾病防除計画プロジェクト（フェーズ2）」、略してADC2は本年2月から3年計画でスタートしました。ADC2は、「タイ及び周辺国における家畜疾病防除計画プロジェクト」（ADC1；2001年12月～5ヶ年計画）の終了を受けて計画されました。ADC1では、タイが主体となり周辺各国の中央診断施設の整備と強化が図られました。ADC2は、ADC1の成果を発展的に捉え、1.参加各国(国内)の家畜疾病診断技術の向上と家畜衛生ネットワークの強化、2.参加国間(地域)の家畜衛生ネットワークの構築にその目標が置かれています。

ADC2は、各国国内活動を推進する国内合同推進会議(NJCC；原則中央政府局長を議長とする)、地域活動を推進する地域合同推進会議(RJCC；各国持ち回り、ホスト国のNJCC議長を議長とする)及び各国国内並びに地域活動の調整を努める地域プロジェクト事務局(RPS)で構成されています。また、本活動が国内・地域の2階建て構造であり、且つRD(Record of Discussions：討議議事録)が各国毎に交わされたという特異性から、JICA東

京本部、各国JICA事務所とRPSの連携及び動衛研津田知幸研究管理監を委員長とする国内支援委員会が組織されADC2を側面支援しています。また、各国国内にはプロジェクトサイト(P・S)が設定され、政府中央機関からナショナルディレクター、マネージャー、コーディネータ、地方機関からサイトマネージャー(共にNJCCメンバー)が組織され各国の自主的・主体的取組みを支える仕組みとなっています。

プロジェクトチーム(チーフ、業務調整、家畜疾病防除、タイ人コーディネータ各1名及びプロジェクト管理短期専門家1名で構成)は、本年2月着任後直ちにRPSを結成、翌3月にタイ畜産振興局(DLD)でRJCCを開催しました。その翌日からは各国ベースライン調査と活動計画(PO)策定のため村落レベルから中央機関に至る実態調査を実施、意見調整を繰り返してきました。各国POを承認するためのNJCCは、7月末のベトナムを皮切りに8月末カンボジアまで相次いで開催されました。いよいよ各国の本格的活動がスタートを迎えます。

RPSでは、国内活動を今後の活動モデルとして取り組むべくP・S内にモデルエリアの選定を促してきました。RPSは、モデルエリアに簡易ラボを設置しその充実を図ると共に各種研修活動等の支援を行いNJCCの活動を支えます。地域活動では、RJCC開催、地域疫学研究チームの結成、スタディーツアー、地域研修等に関係各国と共に取り組みます。

活動の開始に当たり短期専門家の派遣(疫学、特定家畜疾病等)、カウンターパート研修受入等では皆様のご協力を仰ぐことになろうかと思えます。宜しくご支援のほどお願い申し上げます。

